

プチパピ 図書館だより

2020
10月号



磐城桜が丘高等学校図書館・図書委員会発行

図書館報『パピルス』のプチ版ということでプチパピです



文化の日をはさんだ2週間、10/27～11/9は読書週間です。1947年（昭和22年）に第1回が開催されてから、今年で74回を迎えます。また、読書週間の始まる10/27は「文字・活字文化の日」です。

活字離れ・本離れが進んでいるとも言われていますが、この機会に何か本を読んでみませんか？「積ん読」状態になっている本に手を伸ばしたり、図書館や書店で心ひかれる本との出会いを求めたりしてはいかがでしょうか。



雑誌のバックナンバー差し上げます！

日時：10月26日（月）昼休み～
冊数：一人2冊まで

※11/9（月）以降は冊数制限なし

対象雑誌：ダ・ヴィンチ、オレンジページ、
タウンマガジンいわき、MOE、
Number、SCREEN、Newtonなど

※保存期間（雑誌によって異なります）を過ぎたものが対象です。



お知らせ

読書週間に合わせて図書委員会執行部の生徒が「小説・マンガの名セリフしおり」を作成しました。本を借りても借りなくても希望する方にプレゼントします。何気なく選んだ一枚に、今のあなたの心に響く言葉が書かれているかもしれません。読書のおともにぜひどうぞ！

図書委員 オススメの本

今月のテーマ：ミステリー

『化物語』

西尾維新／講談社

ある日主人公は空から降ってきた女の子を助けます。その子には体重がほとんどありませんでした。ある日道で大きな蟹の怪異に出会い、気がついたら体重がほとんどなくなっていたのです。主人公がその子を助けるために頑張る、ちょっと不思議で面白い作品です。この本の中には他に蝸牛と猿のお話も入っています。本校図書館にもあります。



（1年・男子）

『黒猫の小夜曲』 セレナーデ

知念実希人／光文社文庫

黒猫となって地上にきた死神は地縛霊のレディと出会い、二人で成仏できない魂の未練を解消し救っていきます。その中で製薬会社に関わる人の謎の死に気づき真実に迫っていきます。黒猫がかわいく、物語には感動します。



（2年・女子）

『死香探偵』

喜多喜久／中公文庫

特殊清掃員として働く、桜庭潤平は死者の放つ香り「死香」を「食べ物」の匂いに変換してしまうという特殊体質になり困っていた。そんな時出会った分析フェチのイケメン准教授・風間由人。その特殊体質を生かし、二人は数々の難事件に挑む。

（2年・女子）



裏面は新着図書案内